



指揮者
宮尾 光一先生

そして、今年も十月二日 熊本県立劇場コンサートホールにて、「アクア」とともにその音色で、観衆を魅了しました。



顧問
甲斐 正哉先生

昨年、卒業生で結成する「ACCUA(アクア)」も誕生。卒業後もマンドリンに親しめるように、指導や練習場を学校がバックアップする体制を整えています。「3年間で燃え尽きてしまうのではなく、卒業後もマンドリンを続けて欲しい。このクラブが、音楽を一生身近に感じられるようになるきっかけになれば嬉しいですね」と甲斐先生。マンドリンを基に築かれた輪は、美しい音色とともに広がり続けています。

創部をふりかえって

昭和50年の創部から昭和56年まで顧問を務め、現在にいたる基礎を作られたのが川上次雄先生です。「当初、一番苦労したのは活動費の工面。同窓会やPTAから寄付を受けていたものの、音の幅を広げるため、自費で楽器を購入したこともありまし」とのこと。



平成15年度の活動

5月1日	文化祭演奏 校内
5月11日	九州マンドリンフェスティバル 熊本市西部市民センター
5月31日	県高校総合文化祭 県立劇場
6月22日	第22回花しのぶコンサート 高森国民休暇村
7月	前期強化合宿 校内
8月1日	県高校器楽コンクール 市総合女性センター
8月8日~12日	全国総合文化祭 福井県
8月25日~27日	後期強化合宿 国立阿蘇青年の家
10月4日	第6回尚瀬コンサート 県立劇場
11月9日	あ・さ・ひばコンサート 秋津市民センター
11月15日	県庁プロムナードコンサート 熊本県庁
12月16日	県代表選考会 県立劇場
12月20日	ホワイエコンサート 御船町カルチャーセンター
1月20日	連合音楽会 県立劇場
2月7日	環境&福祉フェアコンサート グランメッセ

平成16年度の活動と予定

5月1日~2日	文化祭演奏 校内
5月8日~9日	九州マンドリンフェスティバル 大分県立湯布院青年の家
5月28日	県高校総合文化祭 県立劇場
6月27日	第23回花しのぶコンサート 高森町国民休暇村
8月4日~5日	前期強化合宿 校内
8月6日	県高校器楽コンクール 益城町文化会館
8月21日~23日	後期強化合宿 清和村
8月21日	第1回屋空コンサート 清和村高瀬天文台
8月22日	矢部町コンサート 矢部町浜町
10月2日	第7回尚瀬コンサート 県立劇場コンサートホール
11月13日~14日	第19回国民文化祭・福岡2004 福岡県大川市
11月27日	熊本マンドリン協会創立50周年記念演奏会 県立劇場コンサートホール
12月15日	県代表選考会 県立劇場コンサートホール
1月18日	連合音楽会 県立劇場コンサートホール

マンドリンの魅力にひかれて。



田中 綾絵さん
尚瀬高校3年

入部のきっかけは、友達に誘われたから。初めの頃は2本の弦と一緒に弾くことがとても難しかったのですが、練習を積み重ねるうちに楽しさがわかってきました。昨年からOGが作るアクアとの交流演奏を行っています。先輩方との練習は普段とは違った緊張感があり、技術の向上はもちろん、気分的にも引き締まります。



永野 綾香さん
尚瀬高校3年

両親の勧めもあって、入学前から入部しようと思っていました。楽器を弾くことが楽しいし、部内の雰囲気がとても良く、私にとってクラブ活動は重要な存在になっています。演奏会前は先生に練習を見ていただいているのですが、それ以外は自主練習が中心。先輩から後輩へと教えあうのも、このクラブの魅力だと思っています。



森川 千章さん
尚瀬短期大学1年

卒業後もマンドリンを弾き続けたいと思い、アクアに参加しました。在校生たちと交流演奏をするほか、アクアだけで月に1度はボランティアの訪問演奏を行っています。先輩と一緒に練習をするのも、現役の時とはまた違った楽しさがあります。悩みがあればアドバイスしたいと思いますが、自分たちらしい演奏を心掛けて欲しいと思います。



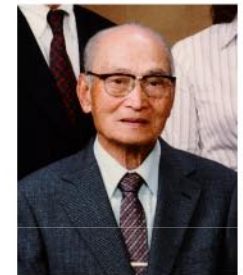
木村 あかねさん
九州看護福祉大学1年

いまでもOGとの交流は盛んでしたが、アクアが結成されて、卒業後も母校でマンドリンの練習ができるのはうれしいですね。先輩たちを見守りながら一緒に練習をするのも、現役の時とはまた違った楽しさがあります。悩みがあればアドバイスしたいと思いますが、自分たちらしい演奏を心掛けて欲しいと思います。

「今後も、一層の成長を願っています」という川上先生。今も、尚瀬コンサートが開かれる日を楽しみにしているそうです。

これからのマンドリン部

現在、高校18名、中学4名の部員で活動しているギター・マンドリン部。「私が顧問になって7年。当初は厳しい雰囲気漂っていましたが、」



名誉顧問
川上 次雄先生



「今後も、一層の成長を願っています」という川上先生。今も、尚瀬コンサートが開かれる日を楽しみにしているそうです。

マンドリンの種類

マンドラ ← マンドセロ ← マンドリン

マンドリンってどんな楽器?

15~17世紀、ヨーロッパの宮廷音楽を代表する楽器、リュートから発展したイタリアの民族楽器。1620年、ベネチアのバロッキという人物によって作られ、改良されながら型が整えられてきました。弦は合計8本あり、同じ高さの音を出す2本が1組。ピックで1組の弦をはじいて音を出し、弦を素早く上下にはじくとレモロ奏法で奏する音色が特徴的です。マンドリンの仲間には、マンドリンより型が一回り大きく、1オクターブ低い音を出す「マンドラ」、マンドラよりさらに大きく、ベース音を担当する「マンドセロ」があります。